

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交通政策課（内線：7641）

3 目 交通対策費

（単位：千円）

| 事業名 | 本年度 | 前年度 | 比較 | 財 源 内 訳 | | | | 備考 |
|------------|-------|-------|-------|---------|----|-----|-------|----|
| | | | | 国庫支出金 | 起債 | その他 | 一般財源 | |
| 公共交通利用促進事業 | 2,733 | 1,145 | 1,588 | | | | 2,733 | |

トータルコスト 9,187千円（前年度 7,773千円）〔正職員：0.8人、非常勤職員：0.1人〕

主な業務内容 キャンペーン等の企画実施、広報、補助金の交付、交通事業者等との連絡調整

工程表の政策目標（指標） 公共交通機関の利用促進による交通手段の維持・確保

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

生活交通手段の維持確保、地球温暖化の防止等を図るため、交通事業者や市町村など関係機関と連携して、公共交通機関の利用促進事業を行う。

2 主な事業内容

| 区 分 | 予算額 | 内 容 |
|--|-------|---|
| (1) 県民気運の醸成 | | |
| (新) 県下統一「エコ通勤の日」 | — | 県民にノーマイカー運動への参加等を呼びかけるため、月又は週ごとに「エコ通勤の日」を定める。 |
| 公共交通利用促進キャンペーン ・利用促進イベント ・県下一斉ノーマイカー運動 | 200 | 平成22年秋頃にPRイベントの開催、ノーマイカー運動などのキャンペーンを実施する。 |
| 利用促進PR事業 ・啓発ポスターの制作 ・イメージキャラクターの制作 ・広報媒体による啓発 | 2,509 | 通学・通勤者等に向けて公共交通の利用を呼びかけるポスターの制作、交通版のトリピーデザイン制作、ケーブルテレビ等による広報等を実施する。 |
| (2) 新たな利用誘導策（運輸事業振興助成補助金により実施） | | |
| (新) エコ通勤チャレンジ事業 | (700) | 「エコ通勤の日」に利用可能なバス割引回数券を発行する。 |
| (新) バスマイレージ導入事業 | (325) | バス定期券・回数券の購入金額に応じてポイントを付与し、特典に交換できる仕組みを東部地域で試験的に実施する。 |
| (3) 利用促進策等の検討 | | |
| 公共交通利用促進連絡会の開催 | 24 | 公共交通の利用促進の具体的な取組方策について、交通事業者・研究機関・行政の関係者により意見交換を行う。 |
| 計 | 2,733 | |

3 これまでの取組状況、改善点

公共交通の利用促進について、平成21年度は県政広報媒体を通じたPR事業に加え、交通事業者・国の機関・市町村・各事業所等の協力を得て、「公共交通利用促進キャンペーン」を実施する等、取組を強化した。

平成22年度は、公共交通の重要性を効果的に訴えるPRや、公共交通の利用者にメリットが得られる誘導策の導入等、一層有効な手段を取り入れて対策を拡充する。